

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無		
体育学部	講師	崎濱 星耶				
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
マインドマップの活用		平成30年4月～令和3年3月	体力トレーニングに関連する基礎知識を整理するためにマインドマップを活用した。			
Think-Pair Shareの導入		令和元年4月～現在	提示した症例に対して学生に大まかなプログラムを考えてもらい、それを他の学生との意見交換の中で充実させる取り組みを行っている。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
独自の授業教材		平成30年4月～現在	授業では教科書の内容や科学的検知をまとめた独自の教材 (パワーポイント、配布資料) を作成している。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
名古屋市守山区生涯学習センター「腰痛予防・改善講座」講師		令和元年～令和3年	腰痛予防に関する講習会を年4回実施した。			
長野県立松本県ヶ丘高等学校「探究学習の日」講師		令和3年4月	高等学校教育における探究学習に関する講演会にて講師を務めた。			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
<b>II 研究活動</b>						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
柔道の大小外刈りによる投込みが前庭機能、輻輳近点へ与える影響	◎箱崎太誠、湖東祐貴、中野立帆、崎濱星耶、清水卓也、倉持梨恵子	日本臨床スポーツ医学会誌	第28巻	345頁～353頁	令和2年4月	
陸上競技選手におけるハムストリング肉ばなれの発生と大殿筋筋厚との関連性～前向きコホート研究～	◎崎濱星耶、倉持梨恵子、清水卓也、村田祐樹、徳武岳、長尾茉珠	日本臨床スポーツ医学会誌	第29巻	64頁～70頁	令和3年1月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
実践報告	大学教員養成課程におけるマインドマップを活用した体力トレーニング (体育実技) の基礎教育実践	共 ◎金子潤、崎濱星耶、村瀬直樹、新井翔太、榎将太	中京大学教師教育論叢	第8巻	25頁～31頁	平成31年1月
実践報告	アスレティックトレーナー資格取得を目指す学生に対するスポーツ関連脳振盪の教育介入が知識、対処の自信に及ぼす影響	共 ◎箱崎太誠、村田祐樹、清水卓也、崎濱星耶、倉持梨恵子	中京大学体育学研究所紀要	第34巻口	93頁～101頁	令和2年3月
実践報告	大学アメリカンフットボール選手における輻輳近点の変化に関する事例報告	共 ◎箱崎太誠、川本将太、崎濱星耶、倉持梨恵子	日本アスレティックトレーニング	第6巻	189頁～195頁	令和3年6月
症例報告	Oculomotor response in males collegiate pole vaulters after repeated head impact due to fall from heights: a pilot longitudinal study.	共 ◎Hakozaki T., Enoki S., Sakihama S., Ishimatsu S., Kuramochi R.	Phys Fitness Sports Med	第10巻	213頁～218頁	令和3年7月
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内 (一般演題)	令和元年7月	第8回日本アスレティックトレーニング学会学術大会	大学ラグビー部における人工芝張り替えに伴う傷害発生の変化	日本体育大学	崎濱星耶、中島宏珠、松本孝朗	

科学研究費等の取得状況					
科学研究費/その他の助成金/外部資金					
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)
特許					
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号
III 加入学会および社会における活動					
期 間	内 容				
加入学会					
平成25年10月～現在	日本臨床スポーツ医学会 準会員				
平成28年5月～現在	日本アスレティックトレーニング学会 会員				
令和2年7月～現在	日本スポーツパフォーマンス学会 会員				
社会的活動					
平成30年7月～現在	日本アスレティックトレーニング学会 事務局員				
IV 管理活動					
期 間	内 容				
委員会活動					
特別プロジェクト活動					
V クラブ活動の指導業績					
1. 指導クラブ名	部	2. 役職	3. 部員数	人	
4. 現場指導の頻度	① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数:	回	延べ日数:	日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所		
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)					
開催期間	大会名	成 績	場 所		
VI 賞罰(職務に関する賞罰)					
年 月	受賞等機関名	内 容		備 考	